

2007年度 シラバス (授業計画)

科目名	情報と倫理 A E2-4		
担当者	郡司 隆男	曜日・時限	火曜・4限

テーマ 情報技術の発展によってもたらされた倫理的・社会的問題を考える

授業内容 コンピュータの出現により、今までには考えられなかった犯罪も生まれ、また、それに対して、個人情報など、私たちの身を守る必要性が増してきています。この講義では、デジタル化された情報の特質を考え、その便利な側面とともに危険な側面を考え、自分を守るための知識を身につけることを目的とします。

また、情報化社会においては、大量の情報を自分の頭で判断し、選り分けていく能力が必要となります。この授業では、そのような技術を身につけることも目標とします。

授業計画 プリント、板書によって解説し、適宜ディスカッションを交じえながら、進めていきます。人の話を鵜呑みにするのではなく、自分の頭で考える力をつけることを目指します。

以下は大体の日程。

5月1日 クラスの方針の説明

5月8, 15日 デジタルメディアの功罪 (スライド)

5月29日~6月19日 *On Being a Scientist* (プリント)

6月26日~7月10日 情報化社会でのコミュニケーション—メールなどのマナー (プリント)

7月17日 まとめ

授業方法 講義と授業中のディスカッションを中心とする。

評価方法 学期中に何回出す課題を全部出すことが最小の義務。さらに学期末のレポートで最終評価をします。

履修上の注意 この授業は聞いて知識を増やすというよりは授業を通じて考えてもらうことを中心に考えますので、出席を重視します。まめに出席することが必要です。やむを得ない理由で欠席した場合には、担当者や級友にきいて、自分で追いついておいて下さい。

教科書 プリントを用意します。

参考書 National Academy of Sciences, *On Being a Scientist*, (National Academy Press, 1995).

<http://books.nap.edu/books/0309051967/html/index.html>

郡司隆男・坂本勉 『言語学の方法』(岩波書店, 1999)。

Alan Sokal and Jean Bricmont, 1998, *Fashionable Nonsense—Postmodern Intellectuals' Abuse of Science*, Profile Books. 日本語訳, アラン・ソーカル、ジャン・ブリクモン, 2000, 『「知」の欺瞞—ポストモダン思想における科学の濫用』(岩波書店)。